

グローバル・カフェ「ブラジルイベント」を開催しました

2023年5月31日（水）18時から、グローバル・カフェでは「ブラジルイベント」を開催しました。本学留学生センターの「さぬきプログラム※」で学ぶ、日系ブラジル人の KUADA LARA EIMY（ララ）さん、AGOSTINHO AMY KAORI（カオリ）さん、SASAKI ZEREDO JUN（ジュン）さんより、ブラジルについて紹介していただきました。留学生4名、日本人学生7名、教職員6名の計17人が参加しました。

※さぬきプログラムについての詳細はこちらに掲載しています。

[香川大学](http://kagawa-u.ac.jp) :: [さぬきプログラム / Sanuki Program \(kagawa-u.ac.jp\)](http://kagawa-u.ac.jp)

初めにジュンさんより、ブラジルは世界第5位の面積を持つことや（日本の約22.5倍）、世界第7位の人口を有すること、世界最大の熱帯雨林であるアマゾンのほとんどがブラジル国内に位置することから、地球上で最も豊かな生物多様性を持つ国の一つとされていることなどが紹介されました。ジュンさんは、ブラジルではパラナ連邦工科大学と INFNET Institute に在籍しており、Graphic Expression やデザインを主に学ばれているそうです。当イベントのチラシは、ジュンさんに作成していただきました。



続いて、同じくパラナ連邦工科大学に在籍するララさんとカオリさんより、日系ブラジル人移民の歴史について説明がありました。日本からの最初の移民は、1908年に神戸港からブラジルのサンパウロ州にあるサントス港に到着したこと、到着後は主に農業労働者として働き、農作業や収穫に従事したことなどをお話していただきました。また、ブラジル日本移民史料館に保管されている、お二人の家族のルーツや祖先の情報が掲載されている貴重な史料も紹介していただきました。



3人よりパラナ連邦工科大学がある「クリチバ市」についても紹介していただきました。クリチバ市ではバスシステムが発達しており、中でも特に有名なのが、バス2台が繋がっている二連節バス（Biarticulated bus）だそうで、その大きさは香川県を走っている「ことでん電車」ほどになるそうです。また、クリチバ市では

毎年「Imin Matsuri」や「Haru Matsuri」が開催されるそうで、過去の Imin Matsuri では、ララさんが現地の日系ブラジル人の友人たちと、抹茶ケーキや天ぷらを販売したことや、Haru Matsuri には、お祭りの参加者と折り紙の折り方や、風呂敷の包み方を学ぶことができる楽しいアクティビティがあることもお話しいただきました。

質疑応答の時間には、「日系ブラジル人のコミュニティーは、ブラジルにはたくさんあるのですか？」と質問があり、ジュンさんより、「ブラジルの各地にたくさんコミュニティーがあり、クリチバ市で開催されているような日本の祭りや（ブラジル風にアレンジされた）日本料理店がたくさん存在する。」と回答がありました。さらに、「なぜ日系ブラジル人のコミュニティーは、絶えることなく今日まで長く続いていると思いますか？」との問いがありました。それに対して、3人より「日系ブラジル人は、日本の文化や伝統を保持することを重視している。特に子どもたちの世代に対して、日本の文化に触れる機会を増やすため、日本の伝統的な行事や活動が多く行われている。」と回答がありました。



遠く離れたブラジルで日本の伝統的な文化が継承されている様子が伝わる心温かいイベントとなりました。

次回のイベントは6月6日(火)のフランスイベントです。フランス人留学生4名よりフランスの紹介をしていただきます。

